

# イヒナビ

vol.11

*ihinavi*

January-1/2025

旭化成ホームズ株式会社  
東京法人支店

## 今年家を建てよう

2025年は、良い土地が売りに出される期待大

**親と住む、という選択**

不安要素が軽減する、親との暮らし方

愛犬・愛猫と暮らすことで、何にも代え難い幸せ時間をつくる

**大切な家族、ペットと暮らす家**



2025年は、良い土地が売りに出される期待大

## 親と住む、という選択

### 不安要素が軽減する 親との暮らし方



一昔前は、「親と同居」＝「マイナスイメージ」として捉える人が多かったと思います。しかし、そんな時代から、社会情勢は変化し、経済的にも災害や防犯面からも、親と暮らす二世帯に魅力を感じ始めている方が急増しています。



### 何よりも資金面の負担が軽減する

例えば親世帯が住んでいる家を二世帯にすれば、土地の費用がかかりません。また、新しい土地で家を建てる場合も資金援助の協力が得られるなど、大きなメリットがあります。

### 災害時や防犯面で親世帯のサポートがあれば、子育ての不安が軽減する

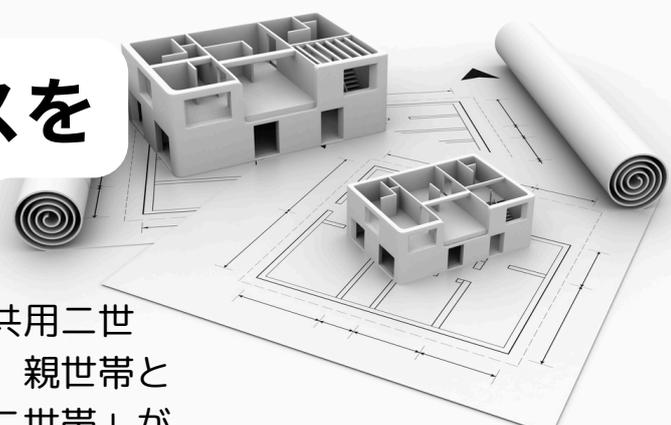
特に共働きの場合、災害時や防犯対策で、お子様が緊急で家に帰宅しなくてはならない場合も、親世帯のサポートがあれば安心して、お迎えなどをお願いすることができます。災害はいつ起こるかわかりません、近年は通り魔的な事件なども勃発しているのです、親世帯の存在は、安心材料になっていきます。



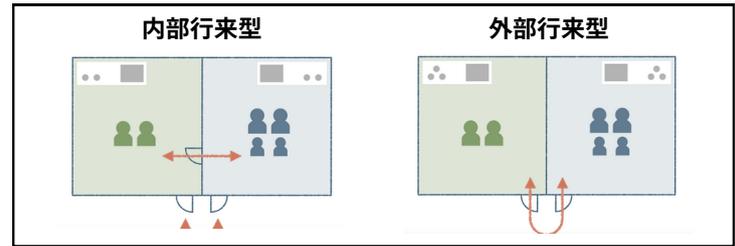
### 旅行など長期に家を空けても安心

長期休暇や帰省時に家を空けることがあっても親世帯がいてくれば無人の状態にはなりません。家にいつも誰かがいる環境は防犯面でも安心です。

# 親と暮らしてもストレスを感じない二世帯タイプ

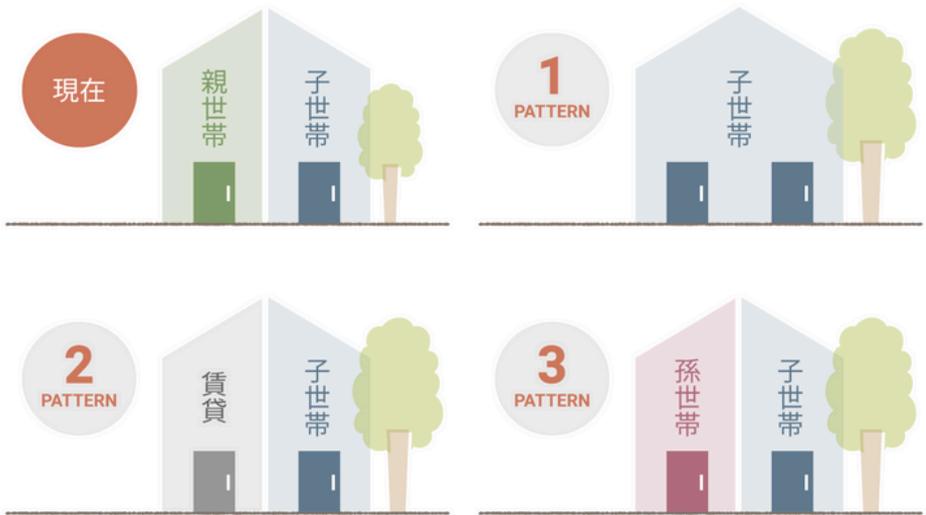


二世帯住宅には以下のように「独立二世帯」「共用二世帯」「融合二世帯」の3つのタイプがあります。親世帯とある程度の距離を保っておきたい場合は「独立二世帯」がおすすめです。



さらに「独立二世帯」タイプには、玄関は2つあるけれど内部での行き来ができる「内部行来型」、そして行き来は玄関を出て、各世帯の玄関からしか入れない「外部行来型」があります。外部行来の方がプライバシーは保たれますが、今後、親世帯の介護をしなくてはいけなくなった時に内部から行き来できるのはとても便利です。今の各世帯の現状はもちろん、将来を想像しながら二世帯のタイプを選ぶことをお勧めします。

## 家族の状況に応じて変化する二世帯



二世帯住宅の魅力は、家族の状況に応じて変化させることができる点です。このように、これから先に対応し、住む人を変えていくことも可能です。さらに賃貸などで一世帯を貸すこともできるので、将来的に収入が得られる家にもなり、家が資産を作ってくれることになります。

# ご存知ですか？ 二世帯住宅は相続税対策 にもなります！



亡くなった親や配偶者などの被相続人から、土地や現金などを相続すると、相続した財産には、相続税がかかってきます。二世帯住宅なら、相続の際の節税にもなるので、今、二世帯住宅に注目が集まっているのです。

## 相続税とは・・・

相続税は、親などが亡くなった場合、お金や土地などの財産を受け継いだ際、その受け取った財産にかかる税金です。相続した財産が大きいほど相続税額は大きくなります。相続税は、財産を相続した場合に必ずかかるわけではなく、相続した財産の額から、借金や葬式費用を差し引くなどした後の額が、一定の額（基礎控除額）を上回る時にかかってきます。

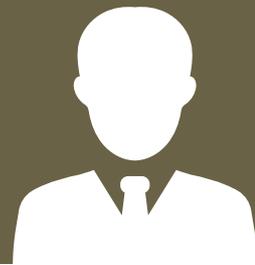
## 実際にどのぐらいの相続税がかかるの？

相続税の税率は1000万円までは10%、3000万円までは15%、5000万円までは20%、1億円までは30%、2億円までは40%、3億円までは45%、6億円までは50%、6億円を超えると55%の税率になります。相続する額が多いほど、税率は高くなりますが、二世帯住宅で基準を満たしていると、節税対策も可能です。ただし、諸条件などもあるので、二世帯住宅を検討している場合は、弊社の東京法人支店担当者までご相談ください。ヘーベルハウスでは、今まで数多くの二世帯住宅を手掛けてきたので、そのノウハウをご提供できます。



## 無料相談実施中

二世帯住宅に関するご相談を  
無料で実施しております



愛犬・愛猫と暮らすことで  
何にも代え難い幸せ時間をつくる

## 大切な家族、ペットと 暮らす家を建てよう



実はヘーベルハウスは27年前の1998年に「ペット研究会」を発足し、ペットと暮らす家の研究をスタートさせました。そして翌年の1999年に動物愛護法が改正されました。この法改正により、今まではペットはモノに近い扱いでしたが、ペットは家族であるという考え方に変わっていきました。既にペットと暮らしている方も、これからペットと暮らしたいと考えている方も、長年の研究をカタチにしているヘーベルハウスの家で大切なペットと幸せ時間を作ってください。

### 犬のストレスを軽減してくれる「そらのま」



犬は長時間閉鎖的な空間にいるとストレスを感じてしまいます。2階リビングから出られる半屋外空間「そらのま」は、外からの刺激を遮る外壁と、風や光を取り込むルーバースクリーンに囲まれた安心の空間なので、愛犬のストレスも軽減しながら「自然の一員」である犬が、家にいながら気軽に自然を感じられるようになっています。

### 室内飼育になる愛猫のためにインテリア兼アスレチック

現在では愛猫は室内での飼育が一般的です。高い場所や縦の移動を好む愛猫の動きを引き出せる「キャットウォーク」や「キャットタワー」も準備しておきましょう。さらに段差のあるラックや収納棚など、自然に昇り降りできるものがあれば、それも立派な運動になります。棚に収まる愛らしい姿は、まるで猫がインテリアの一部になったようなかわいさも。





ヘーベルハウスでは様々な間取りのご提案をしております。

## ペットと暮らす家の間取り

### いつでも元気に遊べる、ひんやり心地の土間のある家。

お散歩に行けない日でも、土間があれば大丈夫。室内でロープの引っ張り合いなどの遊びも自由にできます。汚れに強いタイルの床はひんやりしているので、犬の体温調節にも有用です。



1st floor



2nd floor

### 仕事も猫愛も両立できる、ワークスペースのある家。



1st Floor



2nd Floor

床を30センチ下げたダウンフロアの「ワークスペース」。仕事に集中しやすい適度なこもり感があり、猫にとっても落ち着く居場所に。扉ではなく床の段差で仕切られているから猫も自由に出入りでき、好きな時に甘えにこれます。



## ＜編集後記＞

提携企業の皆様、今年もよろしくお願いいたします。2025年は、良い土地が出てくる可能性が高いと言われております。

私どもでは、土地探しのお手伝いからサポートもさせていただいております。今回ご紹介した「二世帯住宅」に関しては、ここ数年大変多くのお問い合わせをいただいております。

一昔前は、親世帯と住むよりは核家族を求められているお客様が多かったのですが、時代の変化、環境の変化の影響で、安心・安全を求めている方が増えているのを実感しております。

そして「ペットと暮らす家」に関しても、ヘーベルハウスは長い経験から生まれたノウハウがありますので、ペットと暮らしたいからヘーベルハウスをチョイスしたというお声もいただいております。

「二世帯住宅」も「ペットと暮らす家」もヘーベルハウス自体が災害に強いつくりになっておりますので、さらに安心できるお住まいをご提供できると私たちは自信を持っております。

土地探しや相続節税など、家づくりに関するトータルなご相談も承っておりますので、お気軽にご相談くださいませ。

2025年も皆様の家づくりのサポートに全力を尽くして参ります。